

中学2年道徳授業案

日 時 平成27年10月23日(金)

生 徒 2年A組 男子15名 女子16名 計31名

授業場 2年A組 教室

授業者 齊藤 貴文

1 主題名 『 思いやりの心 』 内容項目2-(2) (B-6)

2 資料名 「 月明かりで見送った夜汽車 」 (出典:中学生の道徳3 あかつき)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

情報化・グローバル化が進展する21世紀を生きる私たちは今、様々な文化の人達と「ともに生きる世界」の創造を期待されている。そのためには、互いに異なる文化や価値観を認めつつ「互いを思いやる」という人間愛に基づく人間尊重の精神が必要である。しかし、昨今の痛ましい事件やいじめ問題、ネットトラブル等、相手の立場に立って物事を考え、判断する事ができないような事例が多く発生している。そのような事件・事故等を耳にする生徒にとって、改めて「思いやりの心」について考えることは意義深いことではないだろうか。

中学生という時期において、「思いやりは大切である」ことは理解するに難しくはない。しかしながら、発達段階においてこの時期は、自立心の強まりとともに、自己中心的になりやすく、頭ではわかっているが「お互いに」認め合うという部分が欠落しやすい時期でもある。また、思いやりのよさや本質に気づくこと、且つ実行することは決して容易なことではない。そのような段階において、あらためて「思いやり」のよさや深さに思いを馳せることは極めて大切なことである。 以下生徒観省略

(2) 資料について

今回の授業で扱う「月明かりで見送った夜汽車」は、文化祭準備のために、先生たちが夜遅くまで飾り付けをしている小学校が舞台である。国体に出場するために、出かける先生の申し訳ない思いを受け、残った先生たちの出かける先生へのさりげない行為が思いやりのカタチとして現れる資料である。

思いやりには様々なカタチがあることや、思いやる心とそれを受けとり感じ取る心が大切なことに気づかせ、自分の身の回りにはたくさんの思いやりが溢れていることや、よりよい考え方に気づかせたい。

4 本時案

(1) 本時のねらい

人間愛に基づいた思いやりの大切さを自覚し、様々な立場における互いの思いを尊重し行動しようとする心情を育てる。

(2) 本時の展開 _____ 中心発問 ○発問 △補助発問 [] 予想される生徒の反応 □指示

主な学習活動	教師のかかわり	指導展開上の留意点
<p>1. アンケートをもとに思いやりの意識を交流する。</p> <p>〈大切なこと〉 ・人と良い関係を作るため ・気持ちが良い 他 〈ステキな・・・〉 ・席を譲る・荷物を持ってあげる ・大丈夫?の一言 他</p> <p>2. 資料「月明かりで見送った夜汽車」を読んで押さえ、発表する。</p> <p>〈高橋先生が・・・〉 ・行かなければいけない・・・ ・みんなやっているのに・・・ 〈どんなことを・・・〉 ・疲れたあ・早く帰りたい ・なんでいなくなったんだよ ・頑張ってやろう!</p>	<p>1. アンケートをもとにこれまでに触れた思いやりのある行動を交流させる。</p> <p>【事前アンケート】 ○思いやりはなぜ大切なのか ○すてきだなと思う思いやりのカタチを教えてください。</p> <p>2. 資料「月明かりで見送った夜汽車」(前半:「～いただきました。お願いします」まで)を読んで内容を押さえる。 □場面や登場人物の関係を整理しよう。 ○高橋先生がとても申し訳ないのはどうしてですか。 △行くことを申し訳なく思う必要はありますか?</p> <p>□山本先生はもう少しで終わるでしょうと。でも実際は… ○もし、自分が飾り付けの準備をしていたらどんなことを思いますか。(ペア)</p> <p>3. 山本先生の発言からさりげない思いやりの形やその行為の背景について考えさせる。</p>	
<p>3. 山本先生の発言からさりげない思いやりの形やその行為の背景について考える。</p> <p>〈電気を消そうと・・・〉 ・気持ちよく国体で頑張りたい ・全部終わったら安心してでかけてもらうため 〈みんなのことを・・・〉 ・考えてない訳じゃない。 ・国体の選手だから ・高橋先生だって帰りたいわけではなかったから。</p>	<p>もうすぐ、高橋先生の乗る列車が発車する。学校中の電気を消してもらおうよう、放送しよう。</p> <p>○山本先生は、みんなのことは考えてないんだろうか。 (交流) △みんなだったら素直に(電気を消そうと)思えるんだろうか。</p>	<p>○先生の発言からその行為の背景について考えることができたか</p>
<p>4. 資料の後半を読み思いやりの形や思いやりの根底に流れる思いや考え方について考える。</p> <p>〈どんな思いから・・・〉 ・いいことやるじゃん ・すてき ・やろうやろう ・みんなが一つになった ・拍手や声に対して 〈普段から・・・〉 ・信頼しあう・お互いに声をかける</p>	<p>4. 資料(後半)を読み思いやりの形や思いやりの根底に流れる思いや考え方について考えさせる。 <u>「オー」という声と拍手はどんな思いが湧き上がったから出てきたのだろう。</u> △山本先生への思い以外はないだろうか △こんな思いになれる集団って普段からどんな関わりがあるんだろうね。</p>	<p>○資料から思いやりの根底に流れる思いや考え方について考えることができたか</p>
<p>5. 思いやりのある自分の生き方について考える。</p> <p>〈思いやりのある行動の・・・〉 ・相手のことを考える ・気づくこと</p> <p>□感想を書く。</p> <p>6. 説話を聴く。</p>	<p>5. 思いやりのある生き方について考えさせる。 ○改めて思いやりにあふれる言動を増やすためにはどんなこと・思いが大切なのでしょう □自分はこれからどのように過ごしていきたいと思えますか。感想を書きましょう。</p> <p>6. 説話をする。</p>	<p>○今後の自分の行動のあり方について考えようとしていたか</p>

